

## 家庭学習の充実～生徒のセルフマネジメント力を高める～

今回は、生徒のセルフマネジメント力の向上に重点を置いた取組を行っている城南中学校の塩田校長先生にインタビューをしてきました。家庭との連携を図りながら、手帳の活用を通じた「家庭学習の充実」に取り組まれています。

### 城南中学校の取組の内容

学生向けのシステム手帳を活用することで家庭学習をセルフマネジメントさせる

#### 活用のポイント1

一日の予定の内、3つの時間は自分で決める！  
手帳に○印を記入することで、規則正しい生活をする、習慣化を促す。

- ① 家庭学習をスタートする時間
- ② 就寝する時間
- ③ 起床する時間

「家庭学習の充実」の鍵は  
「セルフマネジメント力」



【塩田校長先生】

#### 活用のポイント2

- ① 翌日持ってくるもの、予定を記入する。  
→一日の見通しがもてる。  
→何をいつ学習するかを自分で考えて学習する。
- ② メモは「翌日、何をするか」を記入する。  
→翌日の見通しがもてる。

8 Wednesday	9 Thursday	10 Friday
<input type="checkbox"/> 朝: プリント <input type="checkbox"/> 英: カラクリ <input type="checkbox"/> (おつろまろ) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 体操服 <input type="checkbox"/> 水分 <input type="checkbox"/> (スポーツドリンク) <input type="checkbox"/> 美: 女王御用の <input type="checkbox"/> 様 <input type="checkbox"/> 電卓のつ	<input type="checkbox"/> 英: ワーク <input type="checkbox"/> (2, 13, 12-3) <input type="checkbox"/> 体操服 <input type="checkbox"/>
家庭: 住生活 理科: 筆算直線 社会: ニコト革命 道徳: 未定 英語: Unit 1-2	国語: 俳句 体育: コース 数学: 因数分解 美術: 鏡玉 英語: 体育大会 話: 新巻	英語: 答え合わせ 数学: 公式シート 社会: 日本選挙 理科: ねじり棒 英語: 体育大会練習 話:
16 勉強 ↓ 宿ごはん ↓ 自由 ↓ 自由 ↓ 自由	16 勉強 ↓ 下校 ↓ 宿ごはん ↓ 自由 ↓ 自由 ↓ 自由	16 勉強 ↓ 宿ごはん ↓ 自由 ↓ 自由 ↓ 自由

生徒の手帳の実際

塩田校長先生へインタビュー

Q1 学力向上に向けた取組について、どのようなことを意識されていますか。

A1 子どもにとって必要な学習は一人ひとり違います。学力向上のためには、学習する内容、取り組む時間など、自分で考えて学習に取り組むことが大切であると考えています。

今年度より従来の自学ノートをやめて、学生向けの手帳を活用して、自分の学習をマネジメントする取組を行っています。

Q2 新たな取組を導入するに当たって、苦労されたことはありますか。

A2 手帳の導入の目的の一つに家庭学習の充実があります。そのためには保護者の協力が不可欠です。手帳の導入の目的や意義を生徒だけでなく保護者に丁寧に伝えることが大切です。前年度からPTAに向けて説明したり、学校通信を通して家庭学習について啓発をしたりしながら理解促進を図りました。

Q3 どのような成果がありましたか。

A3 特に3年生は、受験が控えているということもあり、自分の学習に積極的に取り組む生徒が増えました。また、アンケート調査において、「これまでより1日当たりの家庭学習の時間が30分以上伸びた」と回答した生徒が49%と成果が見られています。自分で計画を立てて実行することが家庭学習時間の確保につながっています。

## 家庭学習の充実のための家庭との連携のポイント！

令和6年度は、宿題として出していた「自学ノート」やめます。単に宿題を減らしただけでは、力はつきません。その浮いた時間を自分で考えて、「自分の苦手教科の問題集を準備し、ページを決めて毎日行う。」「自分の得意なところを更に伸ばすために、難易度の高い問題に挑戦する。」「学校でその日に習った内容を見直したり、問題集や試験の間違った問題を再度解いたりする。」など、自分で何を伸ばすために（目標）どうしていくのか（方法）を決め、帰ってからどこで（時間）行うのかを自分で設定し、自分のものとして勉強を進める（実行）ことで、「やらされる受け身の学習」から「自分からやる主体的な学習」へと変化し、同じことをしたとしても効果は雲泥の差となります。是非、ご家庭でお子さんと、どの時間（時間）にどんなことをするのか（方法）一度お話しをされ、頑張りを認め、ほめるスタンスでお子さんの応援をお願いします。

令和6年度「城南中だより」第1号より

データを示し、期待される効果を示しながら、学生向け手帳導入への理解を図る。

学校だより1号から、家庭学習の充実に向けた校長の強い思いを伝える。

城南中学校の取組については、直接学校までお問合せください。

「もっと城南中学校の取組を知りたい!」と思われる場合は、塩田校長先生に直接お尋ねください。  
TEL (0952-24-4338) mail アドレス (shiota-hiromi@education.saga.jp)

保護者へのお願いは具体的な内容にする。

客観的な成果データを示したり、再度目的の確認を行うことで、学生向け手帳を活用した取組への更なる理解を図る。

### ■ 家庭学習の時間等を調べた結果です

「学校外で平日どれくらい勉強をしていますか?」というアンケートを全校生徒にとった結果です。4月に行った全国、県の学習状況調査の結果を見ても、本校だけでなく佐賀県の中学生は学校外での学習時間（塾の時間も含む）が少ない傾向があります。多くの生徒はあと30分ぐらい学習時間を増やす必要があると考えられます。また、「昨年度と比較して今年度4月より、1日の家庭学習の時間がどのくらい増えましたか?（テスト前を除く）」のアンケート項目では、「30分以上勉強時間が増えた。」生徒は49%、「増えていない」生徒は30%でした。つまり、自分で意識して勉強をやり始めた約半数の生徒達が出てきている反面、30%の生徒は昨年度と変わっていないということが分かりました。

4月より、学生向け手帳を導入し、自分の生活を自分でコントロールする力（セルフマネジメント力）を身に付けさせたいと考えております。また、苦手教科を克服するのか。もっと得意なものを伸ばすのか。人によって伸ばすものが違っているので、今年度から自学ノートの提出をやめ、自分の伸ばしたい力を伸ばすため、自分で決めたものを勉強するための時間を作りました。その時間を有効に使えていない生徒は、2学期の始まりをよい機会とし、保護者の方と相談し、1冊の問題集でも構いませんので、机について毎日行うことを決め、宿題以外の自分のためになる勉強を始めてみませんか。1冊でも問題集をやり抜くと自信につながります。

### ■ 中学生はどれくらい家庭学習を行っているの？

先日、2024年3月調査でのインターネットを活用し、「中学生の子どもを持つ保護者」100名にアンケートをとった結果がニュース記事として載っていました。72%の子どもが、自主的に家庭学習（学校の宿題を除いた自主的な学習のみ）に取り組んでいるという結果でした。令和6年1月の「私は家庭学習に取り組んでいる。」という本校生徒アンケートでは、「よくあてはまる。」20.4%、「だいたいよくあてはまる。」40.4%でした。

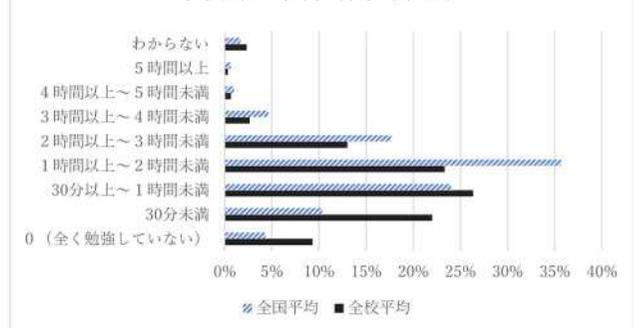
また、ニュース記事の「平日は、平均何時間勉強していますか。」では、30分～1時間（24%）、1～1.5時間（22%）、1.5～2時間（17%）、2～2.5時間（16%）、2.5～3時間（11%）…でした。

さらに、「家庭学習ではどんな教材を使っていますか?」では、「学校で配布される問題集」33%、「市販のドリル、参考書」19%、「塾の教材」18%、「通信教育教材」10%、「スマホやタブレットのアプリ」8%…となっていました。

佐賀市内の小・中学校は、6月より、学校のタブレットPCを家へ毎日持ち帰りとなります。自分が分からないところから学習することもできる（小学生の学習内容からも学び直しが可能）「eラーニング（佐賀市教委で導入した）」を使って、毎日の学習の復習や苦手教科の克服などに使ってみると、学力アップができると考えられます。セルフマネジメントする学生向け手帳を使い、自分で学習をスタートする時間と学習内容を決めて、自分の家庭学習を始めてみませんか。

令和6年度「城南中だより」第2号より

学校外の学習時間（平日）



1日の家庭学習時間が昨年度より

30分以上増えた生徒・・・49%